

会 議 録

会議名	令和元年度 第1回 山陽小野田市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和元年8月29日(木) 15時00分～16時45分
開催場所	市役所3階 小会議室
出席委員	阿座上 知子 中川 正治 野原 由理子 村上 美喜子 藤村 嘉彦 河村 芳高 金弘 智 藤原 哲 佐々木 雅史 町田 正勝 石原 克宏 末富 みどり 真島 邦明 辻村 征宏 (計14名)
欠席委員	なし
事務担当課 及び事務局出 席者	福祉部 部長 兼本裕子 国保年金課 課長 梅田智幸 課長補佐 石橋啓介 主査兼国保係長 伊藤佳和子 主査兼特定健診係長 石井尚子 収納係長 山田幸生
会議次第	1 開会 2 辞令交付 3 福祉部長あいさつ 4 自己紹介 5 出席委員数報告(会議成立の報告) 6 会長・副会長選出 7 会長・副会長あいさつ 8 議事 ① 平成30年度国民健康保険特別会計決算(案)について ② 令和元年度国民健康保険料率について(報告) ③ その他 ・計画段階の保健事業について 9 閉会

議 事 内 容

	●議事①平成30年度国民健康保険特別会計決算(案)について
事務局	<資料1、「令和元年度山陽小野田市の国保」を用い説明>
委員	国の方針で平成30年から広域となった結果、黒字になったように見えるが、今現在で評価したところ単純に良かったのか、悪かったのか。
事務局	広域となって初年度なので、まだ見えていないというのが現実ではありますが、ひとつ言えることは、ある市で予期せぬ療養費が上がった場合、県全

	<p>体で見るので安定な、平準化といえる運営ができると思われる。 ただ、単年度だけでは判断はできない。 また、平成30年度と令和元年度の請求が10%程度大きくなっていますように、今後の動向は不明。</p>
委員	<p>医療費が13市の中で10番目であるということは、県内で足を引っ張っている自治体になっているのか。 1人当たりの医療費が高いということは、これを抑えなくてはならないが、そのための方策はあるのか。</p>
事務局	<p>たとえば、ジェネリック医薬品の利用促進や保健指導・集団健診の実施率の向上など病気になる前の支援に取り組んでおり、さらに今年度からは脳ドックも始めた。</p>
委員	<p>前からの課題である健診の受診率を上げるためには何をしているのか。</p>
事務局	<p>協会けんぽとの合同実施などいろいろ方策は練っていますが、今後も他市の状況等を聞きながら研究していきたいと思う。</p>
会長	<p>委員さんからも何かいい案があったらお願いします。</p>
委員	<p>私は平成30年3月に心臓の手術をして、歩くのもままならなかったが、寝たきりにならないためとにかく歩けと言われ続けた。 地域ではいきいき百歳体操もあるようだが、市内で計画されているウォーキングなどの催しを行うのが国保の役割だと思う。 ウォーキングに参加すれば、病気にならない、なっても軽くなる。そして、大事なこととして仲間づくりができるのでとにかく勧めたい。</p>
委員	<p>市の中にウォーキングなどの健康づくりの活動の支援を行っている部署がある。</p>
委員	<p>市は、縦割りではなく、横割りであってほしい。</p>
会長	<p>特別会計決算案についての意見はありませんか。 ないようでしたら、議事については以上ということよろしいですか。</p>
	<p><異議無く了承></p>
	<p>●議事②令和元年度国民健康保険料率について（報告）</p>

事務局	<「令和元年度山陽小野田市の国保」を用い説明>
委員	国保が後期高齢者医療と分かれたのはいつから。
事務局	平成20年度から。
委員	今が団塊の世代の方が後期高齢者に移る時期なので、国保自体の医療費は下がってくるのではないか。
事務局	4年後くらいですが、下がる可能性はある。
委員	「一般」と「退職」があるが、「一般」は以前から国保に入っている人で、「退職」は定年後に加入された人なのか。
事務局	そうです。現在は、退職者医療制度は終了しているため、今年度に参加した人はいない。
	<異議無く了承>
	●議事③その他・計画段階の保健事業について
事務局	<資料2を用いて説明>
会長	歯科医師の方が委員におられますが、いかがでしょうか。
委員	先日、市の担当者から相談があったので、県の歯科医師会で行っている内容で進められたらいかがかとアドバイスした。 歯周病というのは早く始まって、40～50代になる頃には歯が動いてくるため、なるべく早くから見つけて治療していくことが重要なので、この事業の対象年齢が30歳からは良いと思う。
事務局	補足ですが、今説明した事業はあくまで案の段階であり、来年の議会で承認され、予算が通ってから正式に決まる。
会長	議事については以上ですが、ほかに何かありますか。
委員	保健事業で今年度は「糖尿病性腎症重症化予防事業」と「脳ドック」を始めたはずなので、現時点での状況を教えてほしい。

	また、この2つの事業は今年度で終了なのか。
事務局	国保としましては、今後も続けていきたいと考えている。
委員	事業費との関連もあるだろう。
事務局	次年度については、「糖尿病性腎症重症化予防事業」と「脳ドック」に加えて「歯周病検診」を行っていきたいと考えている。
委員	今年度の参加状況はどうなのか。
事務局	「脳ドック」については、応募が182名あり、抽選で50名の受診者を決定し、順次脳ドックを受けてもらっている。 「糖尿病性腎症重症化予防事業」については、10名の枠に対して、現在5名の参加者が決定している。
委員	特定健診の集団健診において、今年度から協会けんぽの加入者とのコラボを始めたが、今後、会場数が増えていけば定着していけるだろう。 このように、新しい事業でなくても既存の事業を拡大していくことも大事にしてほしい。 また、分析のことになるが、脳ドックを受診された方の後追いをきちんと行うことが大切。
委員	保険料が下がって収納率が下がったとはどういうことか。
事務局	収納状況について、途中までは順調だったが、周知が遅れたこともあって、最終的に下がってしまった。 <異議無く了承>
備考	次回開催予定 令和2年1月下旬